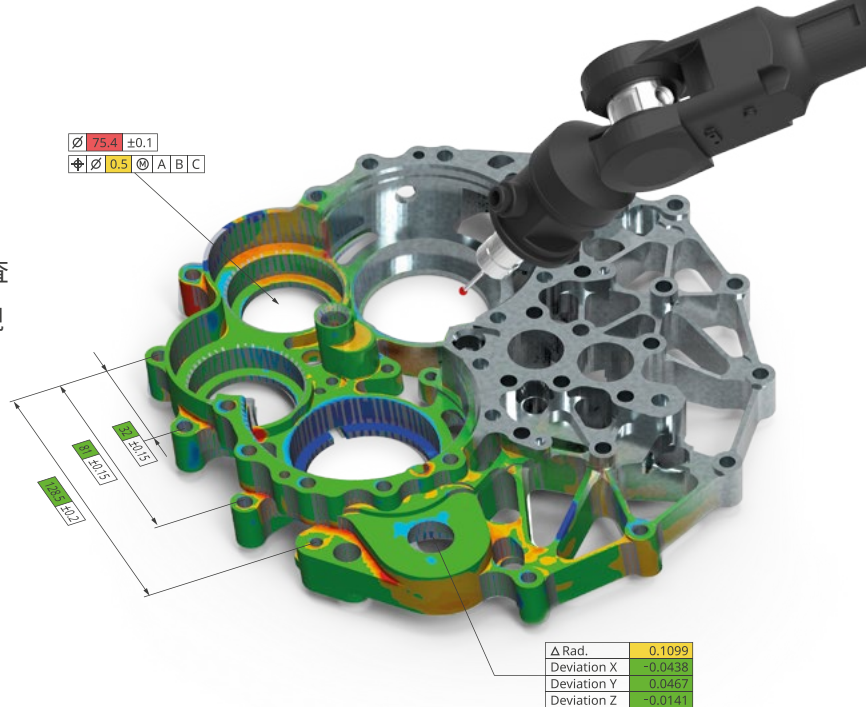


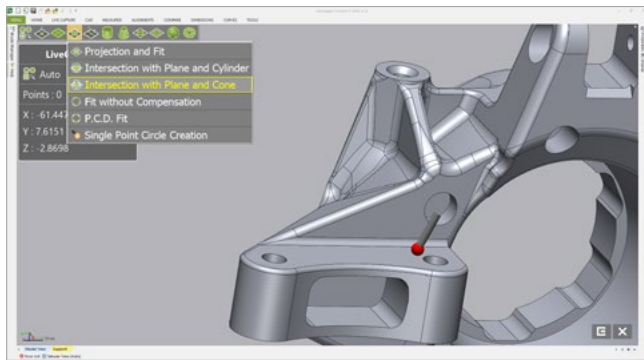
Geomagic® Control X™ 2020 登場

どこでも、確かな、品質を

Control X の最新版では、どこでも、確かな、品質をさらに可能にする新たな機能が追加されました。部署や場所にとらわれることなく、世界中のチーム全体で検査ワークフローを合理化します。Control X 2020 では、現在の機能の強化はもちろんのこと、インスペクションビューワや刷新されたプロービングワークフローといった優れた検査ツールが追加されており、計測ワークフローでの生産性とトレーサビリティを向上します。



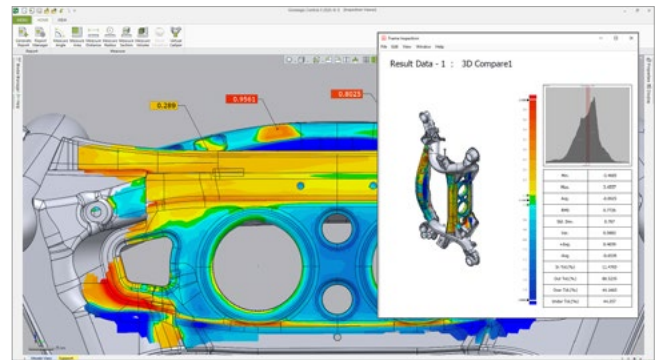
新機能と改善



改善されたプロービングワークフロー

Control X 2020 のパワフルでアジャイルなプロービング機能があれば、大規模アセンブリ、重機、他の産業用途で検査を容易に実施できます。

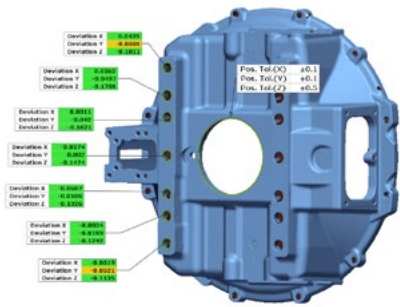
- 難易度の高い特徴構造の検査要件にも柔軟に適應する20種類の新たな計測プロービング手法。
- ポータブルCMMを使用することで、大型部品であっても高速かつ正確に検査します。新たに強化されたデバイスの移動機能により、柔軟に装置の移動前後の座標合わせができるだけでなく、トレーサビリティもとれます。
- 最新のプローブポイント管理システムにより、各プローブポイントが検査結果に与える影響を容易に評価できます。



インスペクションビューワ

無償で提供されるインスペクションビューワにより、誰でもプロジェクトを分析して独自のレポートを作成できます。分析した結果をレポートにして組織全体で共有できる機能により、コミュニケーションを効率化します。

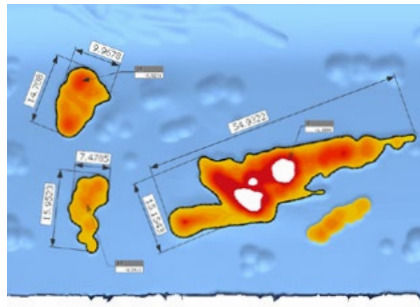
- 品質管理に携わるすべての関係者は検査データにアクセスし、誰でも独自のカスタムレポートを作成できるようになりました。
- プロジェクトを開き、3Dで動かしながら自分の欲しい視点でデータを閲覧できます
- 必要なデータのみを参照できるような検査レポートを簡単に作成したり、変更したりできます。



方向別の公差設定

方向軸ごとに評価することで、製造エラーの根本原因を正確に特定して把握します。

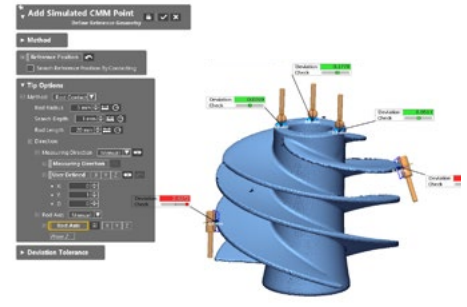
- 形状と寸法の XYZ 要素を個別に評価できます。
- 各軸を分離することで、ユーザーはエラーの根本原因を特定し、明確な改善指示を出せるようになります。



偏差位置

Control X の改善された偏差位置ツールを使用することで、表面の欠陥や差異を迅速かつ容易にスキャン、分析して報告します。

- より正確なサイズと位置分析を提供するとともに、欠陥部分の相対的な長手と短手の寸法を測定できるようになりました。



シミュレートCMM点

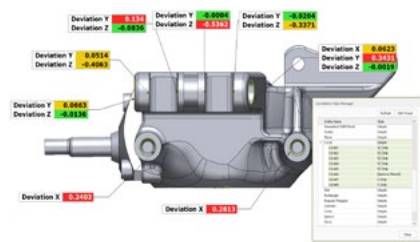
複雑な形状を実際に接触測定するようにシミュレートします。

- 新たに点群にも対応したシミュレートCMM点により、治具から接触測定向けの製品まで、どのような部品でも仮想シミュレーションを自動化します。



オートメーションサーバー

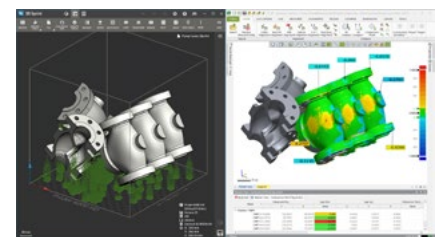
- スキャン処理のカスタムルーチンを作成することで、Control X へのスキャンしたデータの読み込みから処理までを自動化し、ユーザーの手間を最小限に抑えます。
- 新しいオートメーションサーバーのトリガーオプションは、3Dスキャナから送信される複数の合成されていないデータセットを検査プロジェクトに自動で送るタイミングを定義するいくつかの方法を提供します。



注釈

カスタマイズが可能な注釈グループは、ユーザーと用途にあわせて明確に適切なデータを確認するのに役立ちます。

- それぞれの要素に対して余計なものは取り除き、関連する寸法、GD&T コールアウト、一般的な注釈のみを表示します。



3D Sprint ファイルのインポート

3D Sprint のビルドファイルを Geomagic Control X に直接インポートできます。

- 3D Sprint ユーザーはビルドプラットフォームに設置されている状態で分析できるため、プリント部品をより簡単に測定するワークフローを構築できるようになりました。